

願いが叶うために

校長 工藤 誠志

クリスマスがやってきます。子供たちは、絵本でクリスマスのイメージをもちながら遊んだり、音楽やニュースでサンタクロースやプレゼントに思いをつないだりと様々です。サンタクロース、トナカイ、ツリー、ケーキ等とクリスマスのイメージは様々です。家族の会話でイメージが広がり期待が高まっていきます。自分の好きな物を選んだり、気持ちを伝える等して自分の欲しいものを指差したり、話したりして自分の希望を伝えられて実現できたという実感を得られることになります。欲しいものをプレゼントしてもらえた喜びは大きいものです。どんなに小さくてもさらにもう一つ別なプレゼントがあるとしたらもっともっと大きな喜びになります。ハッピー、ラッキー、うれしーいといった気持ちでいっぱいです。予想外のことが起きたときのお子さんの表情を見逃さないでくださいね。



さて、新しい年を迎えます。来年の干支は、辰です。辰は、竜、龍、ドラゴンとも言い換えられて神聖な生き物として扱われています。アニメが大好きな皆さんなら、龍が手に玉を持っていることを御存知かと思います。いわゆるドラゴンボールですね。

この玉は「宝珠」（ほうじゅ）と呼ばれていまして、龍を語る上で欠かせないものの一つとなっています。この龍の玉は、如意宝珠と呼ばれています。サンスクリット語では、どんな願いをも叶える玉を意味するらしいのです。病を治したり、災いを避けたりすることができるうえに、あらゆる願いが叶う神聖な玉があなたの前にあるとしたら、願いを話したくなるはずです。この話すということが自分の願いを明らかにする作業の一つなのです。自分の願いを記憶したり、家族の人と共有したりすることが大切なのです。家庭でできること、学校で叶えたいこと、ずーっと先の将来になりそうなことと、願いは絞り込んでおきましょう。そして、新しい年を迎えたら願いを言葉にしてみましょう。きっと願いが叶うように努力をしようとする気持ちも一緒に芽生えるはずです。新年がくるのが楽しみです。

来月、第43回目となる本校作品展を、ショッピングセンターラピアにおいて開催いたします。日頃の制作活動で学んだことや感じたことなどの思いを込めて造った子供たちの作品を多数展示いたします。子供たちの作品には、観るものの気持ちを動かす力があります。このことは、本校の作品展が始まったときから一貫して変わらぬことです。来年1月13日（土）から15日（月）までの3日間の御来場お待ちしております。

